

あぶしん景況レポート

2025年4～6月期



総合企画部

Vol.20 2025.7発行

当地区の概況

【業種別天気図】

調査対象:120社

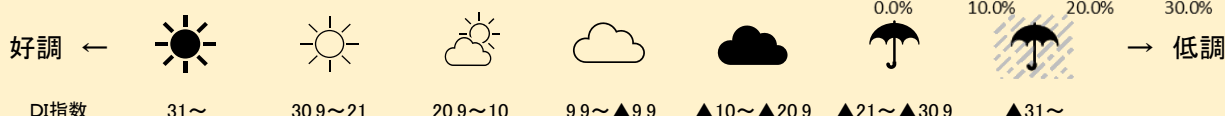
業種別	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
2025年 1～3月								▲ 11.7
2025年 4～6月								▲ 21.7
2025年 7～9月 (見通し)								▲ 13.3

- 2025年4～6月期（今期）の業況判断 D.I. は▲21.7 で前期比 10.0 ポイントの悪化だった。
業種別に見ると小売業は 33.3 ポイント悪化の▲14.3、サービス業は 40.0 ポイント悪化の▲40.0 となった。
- 2025年7～9月期（来期）の予想業況判断 D.I. は▲13.3 と、今期実績比 8.4 ポイントの改善を見込んでいる。

特別調査 - 5年後（2030年）以降を見据えた中長期的な経営について -

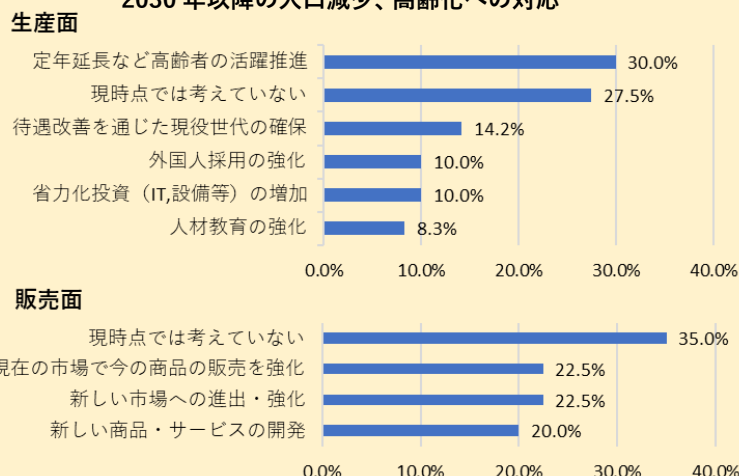
- 2030年以降の人口減少や高齢化の進展への対応について生産面では、「定年延長など高齢者の活躍推進」が 30.0%「現時点では考えていない」が 27.5%となった。
販売面では「現時点では考えていない」が最も多く 35.0%、「現在の市場で今の商品の販売を強化」「新しい市場への進出・強化」が 22.5%となった。

【業況判断天気図】



業況判断 D.I. 指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

2030年以降の人口減少、高齢化への対応



詳しくはくあぶしん>
各支店へ！



あぶくま信用金庫
0244-23-5132

携帯・スマートフォンの方はQRコードを！
情報満載、ホームページをご覧ください。

あぶしん
<http://www.abukuma.co.jp/>



製造業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	40.0	10.0	40.0	10.0	▲ 10.0
	実績	5.0	30.0	20.0	30.0	15.0	▲ 10.0
来期 (7-9月)	予想	5.0	15.0	50.0	20.0	10.0	▲ 10.0

業況判断 D.I. は前期（実績）より 5.0 ポイント悪化し、▲ 10.0 となった。原材料価格や人件費の上昇などコスト面での圧力が引き続き強まっている。来期（予想）D.I. は変わらず▲10.0 の見通し。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	原材料高	55.0%	45.0%
2	人件費の増加	40.0%	30.0%
3	売上の停滞・減少	35.0%	50.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	販路を広げる	55.0%	55.0%
2	経費を節減する	45.0%	45.0%
3	人材を確保する	40.0%	35.0%

卸売業

業況判断D.I.

調査対象：18社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	11.1	50.0	33.3	5.6	▲ 27.8
	実績	0.0	5.6	38.9	50.0	5.6	▲ 50.0
来期 (7-9月)	予想	0.0	5.6	55.6	22.2	16.7	▲ 33.3

業況判断 D.I. は前期（実績）と変わらず▲50.0 となった。半数以上の企業がやや悪い・悪いと回答しており、厳しい状況が続いている。来期（予想）D.I. は 16.7 ポイント改善の▲33.3 となる見通し。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	売上の停滞・減少	61.1%	66.7%
2	利幅の縮小	27.8%	44.4%
3	同業者間の競争の激化	22.2%	38.9%
3	人手不足	22.2%	16.7%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	販路を広げる	77.8%	77.8%
2	経費を節減する	44.4%	55.6%
3	人材を確保する	27.8%	27.8%

小売業

業況判断D.I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (4-6月)	予想	9.5	23.8	52.4	14.3	0.0	19.0
	実績	4.8	14.3	47.6	33.3	0.0	▲ 14.3
来期 (7-9月)	予想	4.8	23.8	47.6	23.8	0.0	4.8

業況判断 D.I. は前期（実績）より 33.3 ポイント悪化し、▲14.3 となった。仕入れ価格や賃上げによる人件費の上昇が経営に重くのしかかり、前期 D.I. より大幅に悪化した。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人件費の増加	42.9%	33.3%
1	仕入先からの値上げ要請	42.9%	28.6%
3	人手不足	38.1%	23.8%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	経費を節減する	42.9%	57.1%
2	人材を確保する	33.3%	42.9%
2	品揃えを改善する	33.3%	0.0%

サービス業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	10.0	65.0	25.0	0.0	▲ 15.0
	実績	0.0	5.0	50.0	35.0	10.0	▲ 40.0
来期 (7-9月)	予想	5.0	5.0	65.0	20.0	5.0	▲ 15.0

業況判断 D. I. は前期（実績）から 40.0 ポイント悪化し、▲40.0 となった。前回調査では経営課題として「人手不足」が多く挙げられていたが、今回は「材料価格の上昇」「売上の停滞・減少」「人件費の増加」が目立つ結果となった。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	材料価格の上昇	55.0%	40.0%
2	売上の停滞・減少	40.0%	35.0%
2	人件費の増加	40.0%	35.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人材を確保する	45.0%	55.0%
1	経費を節減する	45.0%	35.0%
3	販路を広げる	40.0%	45.0%

建設業

業況判断D. I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	9.5	47.6	38.1	4.8	▲ 33.3
	実績	4.8	14.3	47.6	23.8	9.5	▲ 14.3
来期 (7-9月)	予想	4.8	19.0	38.1	33.3	4.8	▲ 14.3

業況判断 D. I. は前期（実績）から 9.5 ポイント改善し、▲14.3 となった。依然として「人手不足」や「材料価格の上昇」といった課題を抱えつつも、売上面の不安はやや後退している。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人手不足	47.6%	52.4%
2	材料価格の上昇	42.9%	47.6%
3	売上の停滞・減少	28.6%	47.6%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人材を確保する	57.1%	66.7%
2	経費を節減する	47.6%	57.1%
2	販路を広げる	47.6%	38.1%

不動産業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	5.0	70.0	20.0	5.0	▲ 20.0
	実績	5.0	5.0	75.0	10.0	5.0	▲ 5.0
来期 (7-9月)	予想	5.0	0.0	75.0	10.0	10.0	▲ 15.0

業況判断 D. I. は前期（実績）から 10.0 ポイント改善し、▲5.0 となった。一方、来期（予想）の D. I. は 10.0 ポイント悪化し、▲15.0 となる見通しである。また、経営課題として「売上の停滞・減少」を挙げる企業が増加している。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	売上の停滞・減少	45.0%	35.0%
2	同業者間の競争の激化	35.0%	40.0%
3	利幅の縮小	20.0%	25.0%
3	商品物件の不足	20.0%	15.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	不動産の有効活用を図る	35.0%	35.0%
1	情報力を強化する	35.0%	25.0%
1	販路を広げる	35.0%	20.0%

全国の概況

【全国業種別天気図】

回答社数: 12,897社

		総 合	製 造 業	卸 売 業	小 売 業	サービス業	建 設 業	不 動 産 業	総 合 D.I.
全 国	2025年 1～3月								▲ 9.1
	2025年 4～6月								▲ 6.9
	2025年 7～9月 (見通し)								▲ 7.4
東 北	2025年 4～6月								▲ 22.2

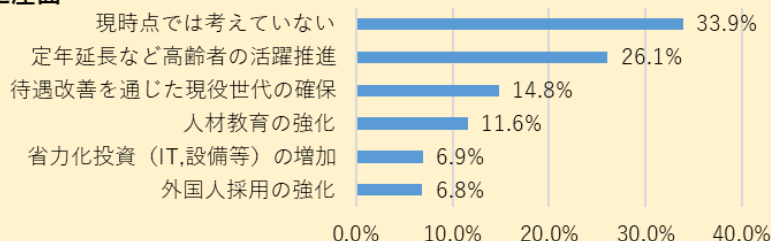
- 全国の 2025 年 4～6 月期（今期）の業況判断 D. I. は▲6.9、前期比 2.2 ポイント改善と、2 四半期ぶりの小幅改善となった。2025 年 7～9 月期（来期）の予想業況判断 D. I. は▲7.4 と、今期実績比 0.5 ポイントの小幅低下を見込んでいる。
- 東北地区の 2025 年 4～6 月期（今期）の業況判断 D. I. は▲22.2 と、前期比 6.7 ポイント改善した。2025 年 7～9 月期（来期）の予想業況判断 D. I. は▲20.1 と、今期実績比 2.1 ポイントの改善を見込んでいる。

特別調査 - 5 年後（2030 年）以降を見据えた中長期的な経営について -

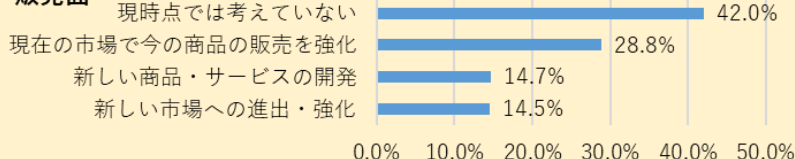
- 2030 年以降の人口減少や高齢化の進展への対応について生産面では、「現時点では考えていない」が 33.9%と最も多くなった。次点で「定年延長など高齢者の活躍推進」が 26.1%となった。
- 販売面についても「現時点では考えていない」が最も多く 42.0%、「現在の市場で今の商品の販売を強化」が 28.8%となった。

2030 年以降の人口減少、高齢化への対応

生産面



販売面



全国の調査員からのコメント

- トランプ関税や自動車業界の景気低迷の影響を受けており、受注が減少傾向にある。（プレス部品製造 群馬県）
- 建築確認手続きの厳格化に伴い、契約から完成までのスケジュールが長期化し、売掛金の回収や現場管理等で課題が生じている。（建売業 愛知県）

【調査要領】

1. 調査時期 2025 年 6 月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断 D. I. は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差（判断 D. I.）を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員 20 人未満の企業が約 7 割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。